

日本泌尿器科学会

第 212 回 熊本地方会プログラム

日時：令和 8 年 9 月 26 日（土）

時間：15 時 00 分～17 時 50 分

会場：くすのきテラス 3 階 「大会議室」

（熊本大学病院内）

住所： 熊本市中央区本荘 1 丁目 1 番 1 号

<補足>

- ◇ 1 演題につき口演時間は 7 分・討論時間は 3 分です。
- ◇ 次演者は会場前方、演台手前の席での待機をお願いいたします。
- ◇ 発表形式は Windows Power Point 限定です。
- ◇ Mac など PC を持参される場合は、各自専用コード・出力端子用アダプタをご準備下さい。
- ◇ 発表データは可能ならば事前にメールでのご提出、もしくは当日 USB メモリに保存し受付にご提出下さい。
- ◇ 会員カードを必ずご持参下さい。
- ◇ （研修医を除く）地方会非会員の先生は、参加費 3,000 円を徴収します。
- ◇ 後日、熊本大学泌尿器科ホームページで演題の PDF を公開いたしますので、体調不安等ございましたら、無理なさらないようお願いいたします。

◆ セッション 1 (15 時 00 分～16 時 10 分)

座長：中熊 健介

(人吉医療センター)

1. cT3b 腎癌に対してロボット支援下根治的腎摘除術を施行した 1 例
右田敏起、牧野耕、岡 保伸、濱崎 和代、元島 崇信、
占部裕巳、三上 洋、渡邊 紳一郎 (済生会熊本病院)
2. 診断に難渋した腎浸潤性腎盂癌の一例
石松康英、永福寿朗、近浦慶太、今川大輔、原一正、濱田泰之 (熊本中央病院)
川野尚 (川野病院)
3. エンホルツマブ ベドチン＋ペムブロリズマブ投与後にステロイド反応性の発熱を反復した転移性腎盂癌の 1 例
田中大樹、二口芳樹、福井秀幸 (熊本総合病院)
4. 右腎膿瘍に続発した腎仮性動脈瘤および腎十二指腸瘻の 1 例
今藤淳之助、中村圭輔 (山鹿市民医療センター)
村上栄敏、前田喜寛 (熊本医療センター)
5. 診断に難渋した腎不全の 1 例
桂康裕、高橋えりか、三浦太郎、入江亮輔 (国保水俣市立総合医療センター)
6. 膀胱全摘後の尿管動脈瘻の一例
野尻拓矢、高橋 祐貴、神尾 琢克伸、石崎 宏志、鮫島 智洋、濱田 真輔、
前田 喜寛、菊川 浩明 (国立病院機構 熊本医療センター)
川野 尚 (医療法人社団杏風会 川野病院)
7. 腹腔鏡下膀胱内手術の導入と現在の課題
愛甲泉、村上道洋、里地葉 (熊本市民病院)

<<< 休憩 (16 時 10 分～16 時 30 分) >>>

◆セッション 2 (16 時 30 分～17 時 40 分)

座長：中村 圭輔

(山鹿市民医療センター)

8. 血尿を呈した膀胱アミロイドーシスの一例

田中聡、東 俊之介、有働 和馬、山口 隆大 (くまもと県北病院)

9. 膀胱皮膚瘻の有用性と今後の展望

村上道洋、愛甲 泉、里地 葉 (熊本市民病院)

10. 当院における PSMA-RLT の初期経験

上川舞乃、倉橋 竜磨、原田成美、西澤秀和、穴見俊樹、馬場理也、
村上 洋嗣、矢津田 旬二、神波 大己 (熊本大学病院)

11. 尿道皮膚瘻を形成した尿道結石の一例

渡邊崇、小原直大、陣内良映 (天草郡市医師会立 天草地域医療センター)

12. 骨盤臓器脱に対する LSC と TVM の術式選択—高齢患者における TVM の有用性—

谷川史城、山中達郎、脊川卓也、松永欣也、狩野武洋、浅山縁、
鍋倉康文、井秀隆、野尻明弘 (医療法人野尻会熊本泌尿器科病院)
鋤田知子 (第一東和会病院ウロギネコロジーセンター)

13. 当院で診断した転移性去勢感受性前立腺癌に対する検討

中熊 健介、山村 智子、山中 広太郎 (人吉医療センター)

14. 令和 8 年熊本地震において、熊本労災病院が果たした初期対応と医療継続の実際

眞鍋笙之介、冨永成一郎、宮本豊 (熊本労災病院)

<<<優秀演題発表 (17 時 45 分～17 時 50 分) >>>

◆熊本地方会参加単位登録の手順

～参加受付から参加単位登録までの流れ～

(※受付には、日本泌尿器科学会の「会員カード」が必要です。)

- 1) 受付にて参加受付を行う。
- 2) 参加証を受け取り、記名欄に名前を記入する。
- 3) 「会員カード」の QR コードをハンディターミナルで読み取ってもらう。

※「会員カード」をお持ちでない場合は、参加証の原本をご自身の専門医（初回・更新）認定申請時期まで保管し、申請書類に貼付して下さい。会員カードを作製されていない方は、日本泌尿器科学会 WEB サイトの「よくあるご質問」ページ (<http://www.urol.or.jp/other/faq.html>) より、「Q. 初めて会員カードを作製するには…」をお読み下さい。また、参加証は、後日 WEB 上で単位が確認できるまで（約 3 カ月程度）は大切に保管して下さい。その他、ご質問(単位登録に関する質問も含む)は、日本泌尿器科学会へお問い合わせ下さい。(TEL：03-3814-7921)